

# 国語科 《第2学年》年間指導計画

## 国語科 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。

## 国語科 第2学年の目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、感は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4  5	1 広がる学びへ (16時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。</li> <li>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見えないだけ</li> <li>アイスプラネット</li> <li>枕草子</li> <li>多様な方法で情報を集めよう</li> </ul>	<p>知 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。 集めた情報を表や図にまとめ、整理している。</p> <p>思 「くうちゃん」の言動から特徴を捉え、他の登場人物との関係を人物相関図にまとめている。 知りたいことに適した方法を考えて、情報を収集している。また、収集した情報を分類・整理し、自分の目的に合うものを取捨選択している。</p> <p>感 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。</p>	読むこと 構造の内容と把握(5~6年)
	2 多様な視点から (13時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。</li> <li>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>魅力的な提案をしよう</li> </ul>	<p>知 文章が六つの部分でできていることを理解し、線や矢印を用いてそれらの関係を整理している。 相手が自ら動きたいと思えるような言葉や表現を用いてプレゼンテーションをしている。</p> <p>思 文章中の図表やグラフが何のために示されているのかを、対応する文章を基に考えている。 資料を用いて、提案内容が視覚的にもわかりやすくなるよう工夫している。</p> <p>感 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。</p>	話すこと 表現(3~4年)
6	書写(5時間) 文字を使い分ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書と行書の使い分け</li> </ul>	<p>知 目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書いている。</p> <p>感 書体を選択して書く必要性を理解し、学習課題に沿って適切な書体を選んで書こうとしている。</p>	硬筆による書写(3~6年)
	情報社会を生きる (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディアを比べよう</li> <li>メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> </ul>	<p>知 情報メディアの特徴を、表や図などにまとめている。</p> <p>感 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。</p>	情報の整理(3~4年)
7	3 言葉と向き合う (9時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短歌に親しむ</li> <li>言葉の力</li> </ul>	<p>知 情景などを表す語句に着目して作品を読み深めている。また、情景や心情が生かされて伝わる言葉を選んで短歌を創作している。</p> <p>思 複数の短歌を比較し、言葉の選び方や順序にどのような特徴や効果があるかを考えている。</p> <p>感 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。</p>	読むこと 精査・解釈(5~6年)
	読書生活を豊かに (2時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>翻訳作品を読み比べよう</li> </ul>	<p>知 活動を通して本の魅力を感じ、今後どんな本を読みたいかを考えている。</p> <p>感 今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。</p>	読書(5~6年)
9	4 人間のきずな (14時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。</li> <li>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>盆土産</li> <li>字のないはがき</li> <li>表現を工夫して書こう</li> </ul>	<p>知 登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、それらが作品に与える印象を述べている。 相手や目的に応じて、敬語を適切に使って通信文を書いている。</p> <p>思 登場人物の言動から人柄や心情を読み取り、それらが話の展開や作品の印象にどう関わるかを捉えている。 自分の思いや考えが伝わるように、具体例を加えたり、表現の工夫をしたりして通信文を書いている。</p>	読むこと 精査・解釈(5~6年)

				態	粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	
	熟語の構成 (10分×5)	・熟語の構成について理解し、熟語の意味を予想できる。	・熟語の構成	知	熟語の構成を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。	
10	5 論理を捉えて (16時間)	・文章の構成や論理の展開について考えることができる。 ・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	・モアイは語る ・根拠の適切さを考えて書こう ・立場を尊重して話し合おう ・月夜の浜辺	知 態	筆者の意見(主張)がどのような根拠によって支えられているかを理解し、その根拠が適切かを吟味している。自分の意見を支えるための適切な根拠を選んでいる。説得力のある根拠と共に、意見をまとめている。  文章全体の構成を捉え、意見と根拠の結び付きや論の進め方を吟味している。根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。互いの意見の共通点や相違点、話し合いの論点を踏まえて話している。	書くこと 構成の検討 話すこと 話し合いの進め方の検討 (5~6年)
	書写<6時間> 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	・点画の省略 ・筆順の変化	知 態	漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。  行書の書き方を理解し、学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3~6年)
	6 いにしえの心を訪ねる (10時間)	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。	・平家物語 ・徒然草 ・漢詩の風景	知 態	与一や義経の言動、扇的を射落とした後の人々の反応に着目し、古人のものの見方や考え方を捉えている。  進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。	伝統的な言語文化(5~6年)
	書写<5時間> 読みやすく速く書くための行書	・漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。	・行書に調和する仮名 ・行書と仮名の調和	知 態	漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。  行書とそれに調和した仮名の書き方を理解し学習課題に沿って進んで書こうとしている。	毛筆による書写 (3~6年)
12	7 価値を語る (9時間)	・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。	・君は最後の晩餐を知っているか ・魅力を効果的に伝えよう	知 態 態	二つの文章を比較し、それぞれの特徴や共通点・相違点を表に整理している。  二つの文章に書かれていることを比較したり、関係づけたりしながら、それぞれの文章が書かれた目的や意図を考えている。  粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。	読むこと 精査・解釈 (5~6年)
	読書に親しむ (1時間)	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	・研究の現場ようこそ	知 態	教材文を通して研究者の考え方や探求心に触れ、研究に関わるさまざまな本を読もうとしている。  本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	読書 (5~6年)
	書写<4時間> 学んだことを活かして書こう	・これまでに学習した楷書・行書の書き方を活かして作品をつくることができる。	・書き初め	知 態	楷書・行書の特徴の違いを理解している。  学んだことを活かして、進んで作品づくりに取り組んでいる。	毛筆による書写 (3~6年)
1 2 3	8 表現を見つめる (27時間)	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。	・走れメロス ・構成や展開を工夫して書こう ・国語の学びを振り返ろう	知 態 態	これまでに学習した作品の構成や展開を振り返り、どんな点を自分の文章に生かしたいかを考えている。壁新聞のテーマを話し合う際に出た意見を、表などを用いてまとめている。  「メロス」の行動や考え方で共感できたところ・できなかったところを、自分の知識や経験と結び付けて考えている。書いた物語を友達と読み合い、よい点や改善点を伝え合っている。壁新聞のテーマと内容について、お互いの意見の共通点・相違点を明らかにしながら話し合い、結論を導いている。  粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力や文章をまとめるようとしている。粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。	読むこと 考えの形成 書くこと 推敲 話すこと 表現・共有 (5~6年)
	類義語・対義語 (10分×5)	・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解できる。	類義語・対義語	知	類義語・対義語・多義語の概念について、具体的な例を当てはめて理解している。	

# 社会科 地理分野《第2学年》年間指導計画（60時間分）

## 社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 社会科 地理分野の目標

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、態は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との関連	
6	日本の地域的特色 13 時間	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、①日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。②少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。③日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。④国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結びつきや日本と世界との結びつきの特色を理解する。⑤項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し、理解する。⑥日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。⑦項目に基づく地域区分などに着目してそれらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。⑧日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実	1. 山がちな日本の地形 2. 川がつくる地形と海岸や海洋の特色 3. 日本の気候 4. 日本のさまざまな自然災害 5. 自然災害に対する備え 6. 日本の人口 7. 日本の資源・エネルギーと電力 8. 日本の農業・林業・漁業とその変化 9. 日本の工業とその変化 10. 日本の商業・サービス業 11. 日本の交通網・通信網 12. さまざまな地域区分 13. 章の学習を振り返る	知 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取り組みなどを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結びつきや日本と世界との結びつきの特色を理解する。項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し、理解する。日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。⑦項目に基づく地域区分などに着目してそれらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。	態 日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。という八つの資質能力を身に付ける。	・わたしたちの国土 ・わたしたちの生活と食料生産 ・わたしたちの生活と工業生産 ・情報化した社会とわたしたち ・わたしたちの生活と環境

		現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。という八つの資質能力を身に付ける。				
6 7 8 9 10	日本の諸地域	自然環境を中核とした考察の仕方、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、産業を中核とした考察の仕方、交通や通信を中核とした考察の仕方、その他の事象を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、①幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。②日本の諸地域において、それぞれの地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題を理解する。③日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	1 九州地方 6 時間 2 中国四国地方 6 時間 3 近畿地方 6 時間 4 中部地方 6 時間 5 関東地方 6 時間 6 東北地方 6 時間 7 北海道地方 6 時間	知  思  態	幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解する。  日本の諸地域において、それぞれの地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題を理解する。  日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	・わたしたちの国土 ・わたしたちの生活と食料生産 ・わたしたちの生活と工業生産 ・情報化した社会とわたしたち ・わたしたちの生活と環境
2 3	地域の在り方 5 時間	空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、①地域の実態や課題解決のための取り組みを理解する。②地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。③地域の在り方を地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。④地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。という三つの力を身に付ける。	1. 課題を把握しよう 2. 地域をとらえよう 3. 課題の要因を考察しよう 4. 課題の解決に向けて構想しよう 5. 課題の成果を発信しよう	知  思  態	地域の実態や課題解決のための取り組みを理解する。地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解する。  地域の在り方を地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。  地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決する。という三つの力を身に付ける。	・わたしたちのまちのようす

# 社会科 歴史分野《第2学年》年間指導計画（45時間分）

## 社会科 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

## 社会科 歴史分野の目標

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

知は知識・技能、思は思考・判断・表現、主は主体的に取り組む態度

月	単元名	指導目標	学習内容	評価規準	小学校との 関連
4	武士による全国支配の完成 5時間	①江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。 ②江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気付かせる。	1. 幕藩体制の始まり 2. 朱印船貿易から貿易統制へ 3. 四つに絞られた貿易の窓口 4. 琉球王国とアイヌの人々への支配	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</span> 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と班による支配が確立したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。                 </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思</span> 統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。                 </div> <div style="padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主</span> 江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。                 </div> </div>	戦国 の世から江戸の世へ(5年)、江戸の文化と新しい学問(6年)
4 5	天下泰平の世の中 6時間	①身分制のもとで、人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと、農村が幕府や藩の経済を支えていたことに気付かせる。 ②農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・会場交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ③藩校や寺子屋などの普及に着目して、人々の教育への関心の高まりに気付かせるとともに、学問・芸術・芸能などの地	1. 江戸時代を眺めてみよう 2. 身分制の下での暮らし 3. 安定する社会と諸産業の発達 4. 各地を結ぶ陸の	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">知</span> 身分制と農村の様子をもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。                 </div> <div style="padding: 5px;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">思</span> 統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や安定した社会が構築されたことを考察するなど事象を相互に関連付けるなどして近世社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。                 </div> </div>	江戸の文化と新しい学問(6年)

		域的な広まりに着目して、文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。 ④近世の文化について、大阪・京都・江戸などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。	道・海の道 5. 上方で栄えた町人の元禄文化	主	産業の発達と町人文化についてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	
5	社会の変化と幕府の対策 4時間	①貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ、近世社会の基礎が動揺していったことに気付かせる。	1. 貨幣経済の広まり 2. 繰り返される要求と改革 3. 江戸の庶民が担った化政文化	知  思  主	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。  社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆が起こったことなど事象を相互に関連づけるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	江戸の文化と新しい学問 (6年)
11	欧米諸国における「近代化」 6時間	①政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどに関連づけて、アメリカの独立やフランス革命などを取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て、近代民主政治への動きが生まれたことに気付かせる。 ②工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取り上げ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気付かせる。 ③産業革命の進展にともなった、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。	1. 市民革命の始まり 2. 人権思想からフランス革命へ 3. 産業革命と資本主義の成立 4. 欧米諸国の近代国家建設 5 世界進出を目指す欧米社会	知  思  主	欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。  工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	明治時代の国造りをすすめた人々 (6年)
11	開国と幕府の終わり 5時間	①欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い、アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したこと、その政治的および社会的な影響を理解させ、それが	1. 日本を取り巻く世界情勢の変化	知	欧米諸国のアジア進出による中国の動き、日本の開国と貿易の開始による影響を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	明治時代の国造りをすすめ

		明治維新の動きを生み出したことに気付かせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2. 諸藩の改革と幕府の衰退</li> <li>3. 黒船来航の衝撃と開国</li> <li>4. 江戸幕府の滅亡</li> </ul>	<p><b>思</b></p> <p>工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>た人々 (6年)</p>
12	明治政府による「近代化」の始まり 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>①明治維新について、複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の努力に気付かせる。</li> <li>②富国強兵・殖産興業政策の下で政府が今日につながる諸制度をつくったことや、身分制度の廃止にも関わらず差別が残ったことに気付かせる。</li> <li>③欧米諸国から取り入れられた制度や文化の影響で、社会のようすや人々の生活が大きく変化したことに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 明治時代を眺めてみよう</li> <li>2. 新政府による改革</li> <li>3. 富国強兵を目指して</li> <li>4. 文明開化と新政府の政策</li> </ul>	<p><b>知</b></p> <p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べままとめている。</p>	<p>明治時代の国造りをすすめた人々 (6年)</p>
			<p><b>思</b></p> <p>明治政府の諸改革の目的に着目して、諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察するなど事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
			<p><b>主</b></p> <p>明治維新と近代国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
12 1	近代国家への歩み 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自由民権運動の全国的な広まり、政党の形成、憲法の制定過程などその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気付かせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 新たな外交と国境の画定</li> <li>2. 沖縄・北海道と「近代化」の波</li> <li>3. 自由と民権を求めて</li> <li>4. 帝国憲法の成果と課題</li> </ul>	<p><b>知</b></p> <p>立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べままとめている。</p>	<p>明治時代の国造りをすすめた人々 (6年)</p>
			<p><b>思</b></p> <p>議会政治や政治の展開に着目して、政治との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		
			<p><b>主</b></p> <p>議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>		
1	帝国主義と日本 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>①国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. アジアの列強を目指して</li> <li>2. 朝鮮を</li> </ul>	<p><b>知</b></p> <p>条約改正、日清・日露戦争などをもとに日本の国際的地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べままとめている。</p>	<p>明治時代の国造りをすすめた人々 (6年)</p>

		<p>解させる。</p> <p>②大陸との関係をふまえて、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。</p>	<p>めぐる対立</p> <p>日清戦争</p> <p>3. 世界が注目した日露戦争</p> <p>4. 塗り替えられたアジアの地図</p>	<p>思</p> <p>外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連づけるなどして、近代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>た人々</p> <p>(6年)</p>
1 2	<p>アジアの強国の光と影</p> <p>4時間</p>	<p>①近代産業が飛躍的に発展して資本主義経済の基礎がかたまったことに気付かせる。</p> <p>②工業の発達などによって人々の生活が変化がみられた一方で、労働問題や社会問題が発生したことに気付かせる。</p> <p>③伝統的な文化の上に欧米文化を受容して、日本の近代文化が形成されたことに気付かせる。</p>	<p>1. 近代日本を支えた糸と鉄</p> <p>2. 変わる都市と農村</p> <p>3. 欧米の影響を受けた近代文化</p>	<p>知</p> <p>生活の変化や近代文化について理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>思</p> <p>近代化がもたらした文化への影響に着目して産業発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連づけるなどして、近代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主</p> <p>近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>明治時代の国造りをすすめた人々</p> <p>(6年)</p>



# 数学科 《第2学年》年間指導計画

**数学科 教科目標** 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

## 数学科 第2学年の目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

## 第2学年年間指導計画（評価規準）★ 知は、知識・技能 考は、思考・判断・表現 感は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	重点目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	ガイダンス <1時間>	2年数学科学習について、意欲を高める	数学科学習の意味・意義	感 数学科学習に対して関心をもち、意欲を高めようとしている。	
4 5	1 式の計算 <15時間>  *6/5~9 10分×5 朝学習(計算演習)	文字を用いた式について、数学的活動を通して、簡単な整式の加法・減法、単項式の乗法・除法の計算ができ、具体的な事象の中の数量の関係を文字式で表したり、式の意味を読み取ったり説明できることを理解し、目的に応じて簡単な式を変形することができる。 具体的な数の計算や既習の計算方法と関連付けて、整式の加法・減法、単項式の乗法と除法の計算方法を考察し表現することや文字式を具体的な場面で活用することができる。	1 式の計算 2 式の活用	知 簡単な整式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算をすることができたり、具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。また、文字を使った式で数量および数量の関係をとらえ説明できることを理解したり、目的に応じて簡単な式を変形したりすることができる。 考 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、多項式の加法と減法および単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現したり、文字を使った式を具体的な場面で用いたりすることができる。 感 文字を使った式のよさに気づいて粘り強く考え、文字を使った式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を使った式を用いた問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	□を使った式(3年)  四則の混じった式、かっこのついた式(4年)  文字を用いた式、比例と反比例(6年)
5 6 7	2 連立方程式 <14時間>  *10/6~13 10分×5 朝学習(計算演習)	連立2元1次方程式について、数学的活動を通して、2元1次方程式とその解の意味を理解し、連立方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解し、簡単な連立方程式を解くことができる。 1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現し、連立方程式を具体的な場面で活用することができる。	1 連立方程式とその解き方 2 連立方程式の活用	知 2元1次方程式とその解の意味、連立2元1次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解し、連立2元1次方程式を解くことができる。 考 1元1次方程式と関連付けて、連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。連立2元1次方程式を具体的な場面で使うことができる。 感 連立2元1次方程式のよさを実感して粘り強く考え、連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、連立2元1次方程式を使った問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。	□を使った式(3年)  四則の混じった式、かっこのついた式(4年)  文字を用いた式、比例と反比例(6年)
7 8 9	3 1次関数 <18時間>	1次関数について、数学的活動を通して、1次関数について理解し、事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知り、2元1次方程式を関数の式とみることができる。 1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や	1 1次関数 2 1次関数と方程式  3 1次関数の活用	知 1次関数について理解し、事象の中には1次関数としてとらえられるものがあることを知り、2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。 考 1次関数としてとらえられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。また、1次関数を使って具体的な事象を	ともなって変わる2つの数量の関係(4年)  比例の意味、ともなって変わる2つの数量の関係(5年)

		対応の特徴を見だし、表・式・グラフを相互に関連付けて考察し表現し、1次関数を用いて具体的な事象を捉えることができる。			とらえ考察し表現することができる。	比例と反比例 (6年)
				態	1次関数のよさを実感して粘り強く考え、1次関数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、1次関数を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。	
10	4 平行と合同 <18時間>	基本的な平面図形の性質について、数学的活動を通して、平行線や角の性質を理解し、多角形の角についての性質が見いだせることを知り、平行線や角の性質を基にしてそれらを確かめ説明することができる。	1 平行線と角 2 合同と証明	知	平行線や角の性質を理解し、多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。	角、円、垂直・平行 (1～4年)
11		図形の合同について、数学的活動を通して、平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件、証明のと意味及びその方法について理解できる。		考	基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ説明することができる。	三角形や四角形の の内角の和、図形 の合同 (5年)
				態	平面図形の性質のよさを実感して粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、平面図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。	
11	5 三角形と四角形 <19時間>	図形の合同について、数学的活動を通して、証明の必要性について理解でき、三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができ、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。	1 三角形 2 四角形 3 三角形と四角形の応用	知	平面図形の合同の意味および三角形の合同条件について理解し、証明の必要性と意味およびその方法について理解している。	二等辺三角形、正 三角形、平行四辺 形、台形、ひし形 (1～4年)
12				考	三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだしたりすることができる。また、三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で使うことができる。	三角形、平行四辺 形の面積(5年)
				態	証明のよさを実感して粘り強く考え、図形の合同について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、平面図形の性質を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。	
1	6 確率 <9時間>	不確定な事象の起こりやすさについて、数学的活動を通して、多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。同様に確からしいことに着目し、確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現すること。	1 確率	知	多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数を基にして得られる確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。	度数分布表、柱状 グラフ、代表値 (6年)
2				考	同様に確からしいことに着目し、場合の数を基にして得られる確率の求め方を考察し表現することができ、確率を用いて不確定な事象をとらえ考察し表現することができる。	
				態	場合の数を基にして得られる確率のよさを実感して粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、確率を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたりしている。	
2	7 データの分析 <6時間>	データの分布について、数学的活動を通して、四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解し、コンピュータなどを用いてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	1 データの散らばり 2 データの活用	知	四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解し、データを整理し箱ひげ図で表すことができる。	度数分布表、柱状 グラフ、代表値 (6年)
3				考	四分位範囲や箱ひげ図を使ってデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。	
				態	四分位範囲や箱ひげ図のよさを実感して粘り強く考え、学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、四分位範囲や箱ひげ図を使った問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしていたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしていたりしている。	

※ 教科書の巻末の課題等を活用し、単元のまとめや課題学習を適宜行う(5時間)。

# 令和5年度理科 《第2学年》年間指導計画

## 理科 教科の目標

自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

## 理科 第2学年の目標

- (1) 生物の体は細胞からできていることを観察を通して理解する。また、植物や動物の体のつくりとはたらきを理解し、これにもとづいて光合成や体の動きを理解する。
- (2) 化学変化についての観察、実験を通して、化学変化などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これらの事物・事象を原子・分子のモデルと関連づける見方や考え方を養う。
- (3) 電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解する。また、静電気に関わる観察、実験を行い、静電気の基本的な性質を理解する。更に、放射線とその利用について理解する。これらをもとに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。
- (4) 観測記録や資料をもとに、気象要素と天気の変化の関係を見いだす。また、天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを理解するとともに、日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性についての認識を深めると共に、自然の恵みと気象災害について理解する。

★ 国は、主体的に学習に取り組む態度、思は、思考・判断・表現、知は、知識・技能

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	1 化学変化と原子・分子 <36時間>	化学変化についての観察、実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解するとともに、これらの事象を原子・分子のモデルと関連づける見方や考え方を養い、物質の成り立ちや化学変化のしくみに対する興味・関心を高める。	1章 物質の成り立ち	主 物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の量に関する事物・現象にすすんで関わり、それを科学的に探究するとともに、事象を日常生活の関わりでみようとする。	すがたをかえる水（4年） ものの燃え方（6年） 水溶液の性質
2章 いろいろな化学変化					
5			3章 化学変化と熱の出入り	思 物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。	
6	2 生物の体のつくりとはたらき	生物の体は細胞からできていることを、観察を通して理解させる。また、動物などに	4章 化学変化と物質の質量  ※理科出前授業にて 化学変化を学習	知 物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、物質の成り立ち、化学変化、化学変化と物質の質量に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
7			1章 生物をつくる細胞	主 生物と細胞、動植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、それらを科学的に探究すると	こん虫を育てよう（3年） 動物のすがたと

8 9 10	< 39時間 >	<p>についての観察、実験を通して、動物の体のつくりとはたらきを理解させ、これらに基づいて動物が分類できることなどを理解する。単元全体を通じ、自然環境を保全し生命を尊重しようとする意欲と態度を育てる。</p>	<p>2章 植物の体のつくりとはたらき</p> <p>3章 動物の体のつくりとはたらき</p>	<p>ともに、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与しようとする。</p> <p><b>思</b> 生物と細胞、動植物の体のつくりと働きに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験を行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。</p> <p><b>知</b> 生物と細胞、動植物の体のつくりと働きに関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、生物と細胞、動植物の体のつくりと働きに関する事物・現象について基本的な概念、多様性や規則性を理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>かんきょう (3年)</p> <p>季節と生き物 (4年)</p> <p>わたしたちのからだと運動 (4年)</p> <p>体のつくりとはたらき(6年)</p>
	3 電流とその利用 < 35時間 >	<p>電流回路についての観察、実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解する。また、静電気に関わる観察、実験を行い、静電気の基本的な性質を理解する。更に、放射線とその利用について理解する。これらをもとに、日常生活や社会と関連付けて電流と磁界についての初歩的な見方や考え方を養う。また、放射線についての知識を持ち、放射線がどんなところに利用されているかを知ることによって興味・関心を高める。</p>	<p>1章 電流と回路</p> <p>2章 電流と磁界</p> <p>3章 電流の正体</p>	<p><b>主</b> 電流と電圧との関係及び電流の働き、放射線の利用に関する事物・現象にすすんで関わり、それらを科学的に探究するとともに、事象を日常生活との関わりでみようとする。</p> <p><b>思</b> 電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象の中に問題を見いだし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析し、自らの考えを表現している。</p> <p><b>知</b> 電流と電圧との関係及び電流の働きに関する事物・現象についての観察、実験の操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。また、電流と電圧との関係及び電流の働き、放射線の利用に関する事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。</p>	<p>磁石の性質 (3年)</p> <p>電池のはたらき (4年)</p> <p>電磁石の性質 (5年)</p> <p>電気の性質とはたらき(6年)</p>
	4 気象のしくみと天気の変化	<p>観測記録や資料をもとに、気象要素と天気の変化の関係を見い</p>	<p>1章 気象観測</p>	<p><b>主</b> 気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象にすすんで関わり、それらを科学的に探究するととも</p>	<p>天気と気温 (4年)</p> <p>台風と天気の変</p>

2	<30時間 >	<p>だす。また、天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされることを理解するとともに、日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性についての認識を深めると共に、自然の恵みと気象災害について理解する。</p>	2章 気圧と風	に、自然環境の保全に寄与しようとする。	化（5年）
			3章 天気の変化	<p><b>思</b></p> <p>気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象の中に問題を見だし、目的意識をもって観察、実験などを行い、事象や結果を分析して解釈し、自らの考えを表現している。</p>	
3			4章 日本の気象	<p><b>知</b></p> <p>気象観測、天気の変化、日本の気象に関する事物・現象についての観察、実験の基本操作を習得するとともに、観察、実験の計画的な実施、結果の記録や整理など、事象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。</p> <p>また、気象観測や天気の変化、日本の気象に関する事物・現象について基本的な概念や規則性を理解し、知識を身に付けている。</p>	

# 令和5年度音楽科《第2学年》年間指導計画

## 音楽科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 音楽科 第2学年及び第3学年の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。
- (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

〔知〕は、知識及び技能 〔思〕は、音楽の思考力、判断力、表現力等、〔学〕は、学びに向かう力

月	題材名 (配当時間)	指導目標	指導内容 共通事項	評価規準	1学年との関連
4 5	日本の歌の美しさを感じ取って歌おう  <2時間> 「荒城の月」	歌詞や旋律との関わりを感じ取りながら曲のもつ情緒を味わい、表現を工夫することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞や旋律との関わりを感じ取らせ、曲の持つ情緒を味わわせながら表現を工夫させる。</li> </ul> 旋律 テクスチャ 形式 音色 Andante 調	〔知〕 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。(表現 歌唱)
				〔思〕 歌詞の構成と曲の形式との関わりを理解し、それが生み出す特質や雰囲気を感じながら歌詞の内容を味わって曲にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	
				〔学〕 歌詞の内容や、構成と曲想との関わりに関心を持ち、意欲的に歌唱表現したり鑑賞したりしている。	
6	リズムの反復、変化、重なり方のおもしろさを味わおう。  <2時間> 「リズムアンサンブル」	リズムの重なりを聴き合い、強弱の変化を味わいながらアンサンブルをすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムの反復、変化、重なり方を感じ取らせる。</li> <li>アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、表現を工夫させる。</li> </ul> リズム テクスチャ (音の重なりなど) 強弱 形式 構成	〔知〕 他のパートとの関わり方をしゅうぶんに理解し、自らの意図を反映しながらアンサンブルをしたり、つくったりするための技能を身に付けて表現している。	音楽の特徴を理解し、表現を工夫すること。(表現 創作)
				〔思〕 アンサンブルを構成する素材どうしの重なり方や強弱の働きを理解し、自らの意図をもち表現を工夫している。	
				〔学〕 リズムの反復、変化、重なり方に興味をもち、体を使ったアンサンブル表現を工夫する学習に意欲的に取り組もうとしている。	
7	曲の仕組みを理解し、オーケストラの名曲を鑑賞しよう  <2時間> 「交響曲第5番 八短調」	曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽の良さや美しさを味わえるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解させる。</li> <li>感じ取ったことを客観的な理由を挙げながら批評し、美しさを味わわせる。</li> </ul> リズム 旋律 テクスチャ 形式 音色 動機	〔思〕 オーケストラの響き、曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして味わって聴いている。	音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。(鑑賞)
				〔学〕 オーケストラの響き、曲を形づくっている要素や構造と曲想とのかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
7	曲想を生かして表情豊かに歌おう。  <2時間> 「サンタルチア」	旋律の特徴を感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫して歌えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>テクスチャや形式に着目し、構造をとらえる。</li> <li>声部の役割や強弱、言葉の発音からどうしたら全体の響きがよくなるか、表現を工夫させる。</li> </ul> 強弱 旋律	〔知〕 旋律の特徴を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	表現を工夫しながら歌うこと。(表現 歌唱)
				〔思〕 声の音色、響きを知覚・感受しながら音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	

			テクスチャ 拍 音色	学	曲の特徴を理解し、音楽表現を工夫しながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	
	音楽鑑賞教室 ＜2時間＞ 交響曲 鑑賞教室での曲について	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽を形づくっている要素の知覚を通して、それらの動きが生み出すよさやおもしろさなどを感じ取り、楽曲の特徴や演奏のよさを言葉で表すことができるようにする。</li> <li>オーケストラ鑑賞のマナーを知り、社会人としての教養を高められるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取らせる。</li> <li>オーケストラ鑑賞のマナーを知り、社会人としての教養を高める。</li> </ul>	思	音楽を形づくっている要素を知覚しながら、諸外国の様々な音楽の多様性を理解して鑑賞している。	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。(鑑賞)
			リズム 旋律 強弱 音色 形式 構造 テクスチャ 速度	学	音楽の特徴と曲想に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
8	【合唱コンクールに向けての取り組み】	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の速度や強弱の動きを感じ取らせながら、曲にふさわしい表現を工夫させる。</li> </ul>	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。</li> </ul>
9	速度や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌おう	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音色 リズム 速度 旋律</li> <li>テクスチャ 強弱 構成 ルーズ</li> <li>和音 rit. a tempo accel. dim. テヌート フェルマータ</li> </ul>	思	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化を知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。</li> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。(表現 歌唱)</li> </ul>
10	＜12時間＞ 「時の旅人」 学級の雰囲気合わせた曲選び	<ul style="list-style-type: none"> <li>声部の役割や全体の響き、曲の速度や強弱の動きなどを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。</li> </ul>		学	①歌詞の内容や曲想。 ②発声や言葉の特性。 ③声部の役割や全体の響き、速度や強弱の変化に関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。	
	フーガに親しもう ＜2時間＞ 「フーガ短調」	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の特徴や魅力について味わい、その良さの根拠を言葉で説明することができるようにする。</li> <li>曲を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パイプオルガンの音色に親しむ。</li> <li>旋律が多声的に重なるおもしろさを聴きとる。</li> <li>音楽の特徴や魅力について味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。</li> </ul>	思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。(鑑賞)
11			旋律 テクスチャ 音色 フレーズ	学	パイプオルガンの重厚な響きを感じ取る。 バロック時代の音楽についてその特徴と背景となる文化・歴史などに関心をもち、鑑賞する。	
	舞台芸術と音楽との関わりを味わいながら聴こう ＜4時間＞	総合芸術の比較鑑賞から音楽の多様性を理解することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>オペラや歌舞伎について理解させる。</li> <li>音楽の特徴や多様性について味わい、その良さの根拠を言葉で説明させる。</li> </ul>	思	音楽の特徴を知覚し、それらの要素と曲想との関わりを理解して、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。(鑑賞)
12	オペラ 「アイダ」 歌舞伎 「勸進帳」		旋律 リズム 音色 構成	学	舞台芸術について、音楽の特徴と人々と音楽文化の関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	
	感謝の気持ちを合唱で届けよう【卒業式に向けての合唱曲】	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現したい思いや意図をもって歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取りながら思いや意図をもって歌わせる。</li> </ul>	知	混声三部合唱をするために必要な表現の技能を身に付けて歌っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。</li> </ul>
1	＜8時間＞ 式歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声や言葉の特性を感じ取りながら歌わせる。</li> </ul>	思	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きを知覚・感受しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。</li> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。</li> </ul>
2	「校歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声部の役割を知覚させ、全体の響きを感じ取りながら歌わせる。</li> </ul>	学	①歌詞の内容や曲想 ②発声や言葉の特性 ③声部の役割や全体の響きに関心をもち、表現を工夫して主体的に歌う学習に取り組もうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。(表現 歌唱)</li> </ul>
3	「杉並区歌」 など		音色 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 pp ff 16分休符			

# 令和5年度美術科<第2学年>年間指導計画

## 美術科 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

## 美術科 第2学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

知は、知識及び技能、思は、美術の思考力、判断力、表現力等、学は、学びに向かう力

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4月	オリエンテーション <1時間>	美術科学習について意欲を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>心構え、授業内容の説明</li> <li>年間授業内容・評価方法などの説明</li> <li>美術の授業へのアンケートの実地</li> </ul>	学 学習内容に関心を持って意欲的に授業に取り組むことができたか。	
5月	西へ東へ（日本美術の展開と世界の交流） <2時間>	日本と西洋の美術文化が影響あっていることや、相違や共通性に気づき、美術文化を継承し創造することの意義を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を鑑賞し、初めに感じたことや考えたことについて友達と話し合う。</li> <li>西洋の美術作品に影響を与えた日本の美術作品のよさや美しさについて時代背景も視野に入れて考え、意見を述べ合う。</li> <li>日本や西洋の美術作品のよさや美しさを味わい、感じ取ったことや考えたことをまとめる。</li> </ul>	学 日本と諸外国の美術との相違と共通性などに関心を持ち、主体的に美術文化への理解を深め、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 思 日本と諸外国の美術との相違と共通性に気づき、作者の意図と創造的な工夫や美術を通じた国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
6月				学 日本と諸外国の美術との相違と共通性などに関心を持ち、主体的に美術文化への理解を深め、国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
7月	作り重ねる面白さ（一版多色版画） <10時間> 絵画	心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出し、形や色彩の効果、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に版画で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題を基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調などを考え、心豊かな表現の構想を練る。</li> <li>前時を踏まえて作品を制作する。</li> </ul>	学 感じ取ったことなどを基にイメージを広げて表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり版画の特性を生かしたりしようとしている。 知 感性や想像力を働かせて深く見つめ感じ取ったことなどを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調などを試みながらイメージを模索し、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構想を練っている。 知 感性や造形感覚などを働かせて、版画の特性を生かし、制作の順序などを総合的に考えながら創造的に表現している。	
8月	モダンテクニックを学ぶ <3時間>	基本的な技法について学び、今後の制作に役立てること	<ul style="list-style-type: none"> <li>カラーージュ、スパッターリング、フロッターージュ、パチック、ドリッピング、吹き流</li> </ul>	学 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に感情やイメージなどを基に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	



9月	絵画	ができるようにする。	し、デカルコマニー、ストリングの技法を学ぶ。	知	感情やイメージなどの心の世界を基に主題を生み出し、形や色彩、構成などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	
10月	名画の魅力に迫る <2時間> 鑑賞	形や色彩、構図や描き方、制作過程から作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品から時代背景や作者の心情などを読み解き、美術のめづりについて意見を交わす。</li> <li>作品を鑑賞し、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品からうける思いについて意見を述べ合う。</li> </ul>	学	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
				思	造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	
				学	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	
11月	石のハンコに思いを込めて（篆刻） <10時間> 工芸	テーマに沿った印面と持ち手を制作し、材料や用具の生かし方などを工夫して表す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のテーマを印面と持ち手で表し、ハンコを制作する。</li> <li>材料の持つ特性を生かした作品のよさを味わう。</li> </ul>	学	篆刻の制作に関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり、石の特性を生かした表現ができたか。	
知				感性や想像力を働かせて主題を生み出し、材料を活用し、心豊かな表現の構想を練っている。新たな表現方法を工夫したり、制作の順序など見通しをもちながら表現したりしている。		
思				感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたことを基に表現した作品を味わっているか。		
1月	金屏風の世界 <7時間> 情報デザイン	テーマや自分の世界観を屏風絵を通して、表現する力を養う。また、日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>屏風の制作を通して、見る人の気持ちや作品の世界観、テーマを総合的に考え、表現の構想を練る。</li> <li>和の作品構成や色使いなど、日本の伝統的な技法にも興味を持ち、作品制作に生かせるようになる。</li> </ul>	学	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。	
知				作品の世界観を伝えるために、構成や色彩などの効果を生かして考え、表現の構想を練っている。テーマに基づいた表現方法を用いて制作し、色彩や形を生かして、まとめ方を工夫することができたか。		
2月						
3月						

# 保健体育科 《第2学年》単元指導計画

## 保健体育科 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

## 保健体育科 第2学年の目標

- 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

★知は、「知識及び技能」 思は、「思考力、判断力、表現力」、主は、「主体的に取り組む態度」

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4	体づくり運動 <7時間>	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身に付け、組み合わせることができるようにする。	体ほぐしの運動 体力を高める運動 新体力テスト	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解している。</li> <li>○目的に適した運動を身に付け、組み合わせている。</li> </ul> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> <li>○自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体づくり運動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>○仲間の学習を援助しようとしている。</li> <li>○一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしている。</li> <li>○話し合いに参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体づくりの運動 1年～6年</li> <li>・体ほぐしの運動② 1年～2年</li> <li>・多様な動きをつくる運動遊び</li> <li>・力試し、用具 3年～4年</li> <li>・多様な動きをつくる運動⑥⑦ 5年～6年</li> <li>・体力を高める運動⑤⑥</li> </ul>
4 5	陸上競技 <9時間>	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けつける。短距離走・リレーでは、滑らかな動きで速く走ることを目指す。	短距離走 リレー	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○短距離走・リレーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方その運動に関連して高まる体力などを理解している。</li> <li>○基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。</li> </ul> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の課題を発見している。</li> <li>○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○勝敗などを認め、ルールやマナーを守っている。</li> <li>○分担した役割を果たそうとしている。</li> <li>○健康・安全に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走の運動遊び⑥⑦ 1年～2年</li> <li>・跳の運動遊び③④ 3年～4年</li> <li>・かけっこ、リレー</li> <li>・幅跳び④⑤高跳び④⑤ 5年～6年</li> <li>・短距離走、リレー⑤</li> <li>・ハードル走④</li> <li>・走り幅跳び④</li> <li>・走り高跳び④</li> </ul>
6	球技 ベースボール型 ソフトボール <8時間>	基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防する。 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする。	ソフトボール	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バットを操作してボールを強く打つことができる。</li> <li>○捕る、投げるなど基本的な動きを理解している。</li> <li>○仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。</li> </ul> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作戦など自己の考えたことを他者に伝えている。</li> </ul> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○フェアなプレイを守ろうとする。</li> <li>○一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとしている。</li> <li>○仲間の学習を援助しようとする。</li> <li>○健康・安全に気を配る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年～2年</li> <li>・ボール遊び</li> <li>・ボールゲーム⑥⑧ 3年～4年</li> <li>・ベースボール型ゲーム⑧ 5年～6年</li> <li>・ベースボール型⑥ 3年～4年</li> <li>・ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年</li> <li>・ゴール型サッカー⑦</li> </ul>
6 7	水泳 <9時間>	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。背泳ぎ、バタフライでは手と足の動き、	クロール 平泳ぎ 背泳ぎ バタフライ	<p>知</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力を理解している。</li> <li>○平泳ぎとクロールは手と足の動き、呼吸のバランスを取りより早く泳げる。</li> </ul> <p>思</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○泳法などの自己の課題を発見して合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水に慣れる遊び、浮く、もぐる遊び⑧ 1年～2年</li> <li>・浮く運動、泳ぐ運動 3年～4年</li> <li>・クロール、平泳ぎ②⑧ 5年～6年</li> </ul>

		呼吸のバランスをとって泳ぐこと。		主	○水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に取り組んでいるか。	
9	器械運動 〈6時間〉	技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がよりよくできるようにする。跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせること。	跳び箱運動	知	○技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。 ○基本的な技を滑らかに行い、それらを組み合わせることができる。	・跳び箱を使った運動遊び 3年～4年 ・跳び箱運動④⑤ 5～6年
				思	○自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。 ○自己の考えを他者に伝えている。	
				主	○よい演技を認めている。 ○仲間の学習を援助している。 ○一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	
10 11	武道 〈8時間〉	武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて投げたり抑えたりすること。相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとする。	柔道	知	○伝統的な考え方、技の名称や行い方、それに関連して高まる体力などを理解している。 ○相手の動きに応じた基本動作や技を用いて投げたり抑えたりすることができる。	
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	
				主	○相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守っている。 ○分担した役割を果たしている。 ○禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配っている。	
11	球技 ゴール型 ハンド ボール 〈8時間〉	仲間と連携した動きによってゴール前に空間を作りだして攻防を展開できるようにする。	ハンドボール	知	○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○コントロールしたパスやシュートをすることができる。 ○守備者とボールの間に自分の身体を入れてボールをキープすることができる。 ○空間をつくったり使ったりする動きをすることができる。	3年～4年 ・ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年 ・ゴール型
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	
				主	○練習やゲームなどに積極的に参加している。 ○作戦などの話合いに参加している。 ○健康・安全に気を配っている。	
12	陸上競技 〈10時間〉	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身に付けつけることができるようにする。 リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すこと。	ハードル走 持久走	知	○ハードル走に関連して高まる体力を理解している。 ○リズムカルで滑らかにハードルを越すことができる。	・走の運動遊び⑥⑦ 1年～2年 ・跳の運動遊び③④ 3年～4年 ・幅跳び④⑤ ・ハードル走④ ・走り幅跳び④ ・走り高跳び④ 5～6年
				思	○自己の課題を発見している。 ○運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	
				主	○一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。	
1	球技 ゴール型 サッカー 〈8時間〉	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦応じた技能で仲間と連携しゲームを展開できるようになる。また、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防できるようになる。	サッカー	知	○技術や戦術の名称やポイントを理解している。 ○コントロールしたパスやシュートをすることができる。 ○守備者とボールの間に自分の身体を入れてボールをキープすることができる。 ○空間をつくったり使ったりする動きをすることができる。	3年～4年 ・ゴール型ゲーム⑩ 5年～6年 ・ゴール型サッカー⑦
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。	
				主	○練習やゲームなどに積極的に参加している。 ○作戦などの話合いに参加している。 ○健康・安全に気を配っている。	
2	球技 ネット型 バレー ボール	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的なボール操作と仲間と連携した動きで攻防を展開できるようにする。また、作戦など	バレーボール	知	○バレーボールの特性や技術の名称などを理解している。 ○トス、レシーブなど基本的なボールの操作ができる。 ○定位置に戻るなどの動きを理解している。	・ネット型 3年～4年 ・ネット型バレーボール 5年～6年
				思	○攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決	

	<8時間>	についての話し合いに参加することや健康や安全に気を配ることができるようにする。		<input type="checkbox"/> に向けて運動の取り組み方を工夫している。 <input type="checkbox"/> 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <input type="checkbox"/> 練習やゲームなどに積極的に参加している。 <input type="checkbox"/> 作戦などの話し合いに参加している。 <input type="checkbox"/> 健康・安全に気を配っている。	
3	ダンス <5時間>	感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージを捉えた表現や踊りを通して交流ができるようにする。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化をつけて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現をしたりして踊ること。	創作ダンス	<input type="checkbox"/> ダンスの特性や由来、表現の仕方、その運動に関連して高まる体力などを理解している。 <input type="checkbox"/> 動きに変化をつけて即興的に表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現リズム遊び 1・2年</li> <li>・表現 3～6年</li> </ul>
				<input type="checkbox"/> 表現などの自己の課題を発見している。 <input type="checkbox"/> 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	
				<input type="checkbox"/> 仲間の学習を援助しようとしている。 <input type="checkbox"/> 交流などの話し合いに参加している。 <input type="checkbox"/> 一人一人の違いに応じた表現や役割を認めようとしている。	
4 3	保健 <16時間>	<p>個人生活における健康・安全について理解するとともに基本的な技能を身に付けること。</p> <p>健康について自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p>	健康な生活と病気の予防②	<input type="checkbox"/> 生活習慣病の予防や飲酒、喫煙、薬物乱用が与える影響を理解している。 <input type="checkbox"/> 傷害の防止について応急手当の意義などを理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育ちゆく体と私④ 4年</li> <li>・心の健康④ 5年</li> </ul>
			傷害の防止	<input type="checkbox"/> 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともにそれらを表現している。 <input type="checkbox"/> 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えそれらを表現している。	
11	体育理論 <3時間>	<p>運動やスポーツの意義や効果と学び方、安全な行い方について理解する。</p> <p>自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。</p> <p>学習に積極的に取り組むこと。</p>	スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	<input type="checkbox"/> 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方を理解している。 <input type="checkbox"/> 自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 <input type="checkbox"/> 学習に積極的に取り組んでいる。	

# 技術・家庭科 《第2学年技術分野》年間指導計画

## 技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

(例) 知は生活や技術についての知識・理解・技能、思は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、主は主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4 5 6 7	A 材料と加工の技術 <25時間> 製作のための技能(木材・金属) 身の回りの製品の設計	<p>〈製作のための技能(木材・金属)〉技術が生活の向上と産業の発展に果たす役割を考える。</p> <p>材料の特徴と利用方法を知る。</p> <p>使用目的に即した製品の設計ができる。</p>	<p>①ものづくりの進め方</p> <p>②様々な材料の特徴、材料と環境</p> <p>③設計の進め方</p> <p>④製品の目的と機能、構造</p> <p>⑤材料と加工法</p> <p>⑥構想のまとめと製図</p>	<p>知 技術と生活の関係に気付き技術に役割に関心を示している。</p> <p>知 技術の進展と環境との関係について関心を示している。</p> <p>知 新しい発想を生み出し活用しようとしている。</p>	<p>図画工作5年生実習例「自由に切った形から発想したものや用途を考えたものを作る。」などでの使用する工具や加工法との関連</p>
				<p>思 製作品の使用目的や使用条件を明確にし、材料、使いやすさ、丈夫さを検討し適切な形状や寸法を決定している。</p>	
				<p>主 製作品の構想をまとめることができ、図に描き表すことができる。</p>	
				<p>知 木材・金属の材料の特徴と利用方法についての知識を身に付けている。</p> <p>知 製作における製作図の必要性についての知識を身に付けている。</p> <p>知 製作図の見方、描き方の知識を身に付けている。</p>	
8 9	身の回りの製品の製作	<p>加工法と工具、機器の安全な利用ができる。</p> <p>工程表にそって製品の製作ができる。</p> <p>安全に作業が進められる。</p>	<p>⑦部品表と製作工程表、製作の準備</p> <p>⑧けがき</p> <p>⑨切断</p> <p>⑩切削</p> <p>⑪部品の検査、組み立て</p> <p>⑫接合、点検</p> <p>⑬仕上げ</p>	<p>主 環境や作業の安全に配慮して製作しようとしている。</p> <p>主 常に正しい作業と作業効率を考え製作を進めている。</p>	
				<p>思 加工に関する課題を明確にしながら製作を進め、適切な解決策を見出している。</p>	
				<p>主 製作図を基に、材料取り、部品加工、組立、仕上げができる。</p>	
				<p>知 材料にあった加工法や製作の進め方の知識を身に付けている。</p>	
10 11	A 材料と加工の技術 製作のための技能(木材・金属) まとめ <2時間>	<p>製作のための技能(木材・金属) 製作に関する評価・活用ができる。</p> <p>製作の効率を考えることができる</p>	<p>⑭製作のまとめと材料の加工と私たちの生活</p>	<p>主 材料と加工に関する技術の課題を進んで見つけ、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を示そうとしている。</p>	
				<p>思 材料と加工に関する技術の課題を進んで見付け、社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討しようとするとともに適切な解決策を見出している。</p>	
12	D 情報に関する技術 <8時間>	<p>コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。</p> <p>計測・制御による問題の発見を行う。計測・制御と社</p>	<p>①情報と私たちの生活</p> <p>②コンピュータの構成</p> <p>③情報を処理するしくみ</p> <p>④計測・制御による問題解決</p>	<p>知 情報社会で適正に活動しようとしている。</p> <p>知 情報利用の新しい発想を活用しようとしている。</p> <p>思 情報に関する技術を利用して場面に応じて活動できる。</p>	<p>小学校総合的な学習の時間</p> <p>探究的な学習活動における学習課程</p> <p>「情報の収集」</p>

1  2  3	<p>会のつながりについて考えることができる。</p> <p>プログラムの構造とプログラミング言語について理解する。簡単なプログラムを作成することができる。</p> <p>メディアを利用した情報の表現ができる。</p> <p>情報の技術と私たちの未来について考えることができる。</p>	<p>⑤プログラムの構造と表現、簡単なプログラムを作成</p> <p>⑥プログラムフローチャートの表現</p> <p>⑦文字静止画等を扱いコンピュータの操作</p> <p>⑧デジタル作品の構想</p> <p>⑨情報の技術と未来について</p>	計測・制御の使用目的や使用条件に適したメディアやデジタル化の方法を選択できる。	<p>「整理・分析」「まとめ・表現」の各活動との関連</p> <p>図画工作5、6年生の課題で利用する</p> <p>「デジタルカメラ、パソコン、プロジェクタ、スキャナ、画像処理ソフトウェア」などとの関連</p>
			国 プログラムの設計や制作の計画ができる。 適切な機器とソフトウェアを利用して情報の表現や発信ができる。	
			知 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響を理解している。 情報の技術と未来について知識を身に付けている。	

# 技術・家庭科 《2 学年家庭分野》年間指導計画

## 技術・家庭科 教科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

## 家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術をするとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

★**知**は生活や技術についての知識・理解・技能、**思**は生活を思考、判断し、適切に表現する能力、**主**は主体的に学習に取り組む態度

月	題材名	指導目標	指導内容	評価規準	小学校との関連
4  5	B衣生活 ・目的に応じた衣服の選択 <4時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服と住まいが自分をおおっている環境であることに気付き、これからの学習に意欲をもつ。</li> <li>・TPOに応じた衣服の着用を知る。</li> <li>・衣服と社会生活との関わりを考え、衣服をコーディネートする。</li> <li>・衣服の計画的な活用や入手方法を考える。</li> <li>・衣服の計画的な活用の必要性を理解する。</li> <li>・既製服を購入する時の注意点について、情報を収集・整理することができる。</li> </ul>	①衣服で伝わるメッセージ ②自分らしくコーディネート ③つなげよう和服の文化 ④上手な衣服の選択	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服と社会生活との関わりについて理解している。</li> <li>・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。</li> <li>・個性を生かす着用について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒い季節を快適に（家庭）</li> <li>・寒い季節を快適に（家庭）</li> </ul>
				<b>思</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選択について、解決策を構想し、実践を評価改善し、表現できる。</li> </ul>	
				<b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の選択について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択について、生活を工夫創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	
6	日常着の手入れと保管 <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服を快適に着用するための手入れの方法を知る。</li> <li>・衣服の材料や状態に応じた洗濯・補習・手入れができる。</li> </ul>	①まかせて衣服の手入れ ②布の繊維に応じた手入れ ③めざそう洗濯名人 ④補修や収納・保管	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできる。</li> </ul>	
<b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活の実現に向けて、日常着の手入れについて、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>					
7  9  10	生活を豊かにするものの製作  手縫い <5時間>  ミシン <8時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活の学習を振り返り、衣生活を豊かにするためのものの製作に関心をもち、計画を立て、製作を行う。</li> <li>・作品を作り方の手順に従い、意欲的に製作をする。</li> <li>・ミシン縫いとミシン操作を確認する。</li> </ul>	布による作品で生活を演出 製作の基礎・基本	<b>知</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製作する物に適した材料や縫い方について理解し、製作できる。</li> <li>・ミシン操作や基本的な縫製技術を用いて、手際よく適切に作業することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめてみようソーイング（家庭）</li> <li>・わくわくミシン（家庭）</li> <li>・物の製作（家庭）</li> </ul>
<b>思</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源や環境に配慮し、課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現している。</li> </ul>					
<b>主</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>					

11	持続可能な衣生活 <1時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源や環境に配慮した衣生活をおくるために工夫できることを考える。</li> <li>・持続可能な衣生活をめざして、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。</li> </ul>	持続可能な衣生活をめざして	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 知 思 主 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や環境に配慮した衣生活について問題を見いだして課題を設定している。</li> <li>・よりよい衣生活をめざして、衣服の選択や手入れ、製作などについて、工夫し創造し実践しようとしている。</li> </ul>	
12	B住生活 住まいのはたらきとこちよさ <5時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の基本的な機能を知る。</li> <li>・住空間と生活行為の関わりについて考える。</li> </ul>	①住まいのはたらき ②住まいの空間	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 知 思 主 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の基本的な機能について理解している。</li> <li>・家族の生活と住空間の関わりについて理解している。</li> <li>・よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組み、改善し、工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒い季節を快適に(家庭)</li> <li>・暑い季節を快適に(家庭)</li> <li>・きれいにしようクリーン大作戦(家庭)</li> </ul>
1	安全な住まいで安心な暮らし <6時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方を工夫する。</li> <li>・安全で快適な住まい方を理解する。</li> <li>・住空間と生活行為の関わりを考える。</li> </ul>	①家庭内事故への備え ②災害への備え	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 知 </div>	家庭内の事故の防ぎ方、自然災害への事故の防ぎ方など、家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	
2				<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 思 主 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の安全を考えた住空間の課題について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。</li> <li>・よりよい住生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	
3	持続可能な住生活 <1時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、さまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。</li> <li>・課題を見つけ改善方法を考える。</li> </ul>	持続可能な住生活をめざして	<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> 知 思 主 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会や環境に配慮した住生活について問題を見いだして課題を設定し、工夫している。</li> <li>・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組み、工夫し創造し、実践しようとしている。</li> </ul>	



# 令和5年度外国語科《第2学年》年間指導計画

## 外国語科 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 外国語科 第2学年の目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、放して、書きてに配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

★知識・技能 関心・関与 判断・表現 主体的に取り組む態度

New Horizon English Course 2 総時数 140時間

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準
4	Unit 0 My Spring Vacation <3時間>	* 思い出を伝えるために、今まで習った言語材料を使いながら、自分が経験したことを話すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞の過去形</li> <li>過去進行形</li> <li>There is / are...</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思い出を伝えるために、自分の経験について簡単な語句や文を用いて書いたり話したりしている。</li> </ul>
	Unit 1 A trip to Singapore <10時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 互いの予定などを知るために、休暇や週末の予定について質問したり答えたり、自分の意志を伝えたりすることができる。</li> <li>* 旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉え、感想などをまとめて書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>be going to</li> <li>助動詞 will</li> <li>SVOC</li> <li>SVOC (C=名詞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* [技能] be going to や助動詞 will などの理解をもとに、予定や計画についての対話の内容を聞き取ったり、予定や意志、予測などを伝え合ったりする技能を身につけている。</li> <li>* 旅行の楽しさと海外の文化や言語について理解するために、旅行について報告する文章を読んで概要を捉え、感想などをまとめている。</li> </ul>
	Let's Talk1 ホテルでの トラブル <2時間>	* 場面に応じて、苦情を言ったり、それに対して謝ったりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>I have a problem with...</li> <li>...doesn't work</li> <li>I apologize for</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* ホテルでのトラブルを解決できるように、状況を整理して、相手が理解しやすいように伝えたり、誤ったりしている。</li> </ul>
5	Grammar for Communication1 <1時間>	* 5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>5つの文構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* [技能] 動詞の種類や伝えたい内容に合わせて、適切な構造の文を使い分ける技能を身につけている。</li> </ul>
	Learning HOME ECONOMICS in English <2時間>	* 海外のお土産として相手に会った商品を選ぶために、英語で書かれた食品表示を理解し、ただのお土産にするかを理由とともに発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>助動詞 will</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* [技能] 海外の商品について、英語で書かれた食品表示を理解し、お土産として誰にあげたいかを考え発表する技能を身につけている。</li> </ul>
	Let's Listen1 機内放送 <1時間>	* 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>be going to</li> <li>助動詞 will</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 飛行機に搭乗している状態で、機内放送から必要な情報を聞き取っている。</li> </ul>
	Unit 2 Food Travels around the World <12時間>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* どんなどきに何をするかを伝え合うために、時間の流れなどについて概要を捉えたり、伝えたりすることができる。</li> <li>* 何かをする際の条件を伝え合うために、相手が提示する条件を理解したり、自分の条件を相手に伝えたりすることができる。</li> <li>* いつするかどうしたらするかを伝え合うために時や条件について伝え合ったり書いたりすることができる。</li> <li>* 料理の歴史や変化について考えたことや知っていることを伝え合うために、考えや事実などを理解したり表現したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 when</li> <li>SVOC (C=名詞)</li> <li>メール</li> <li>入国審査</li> <li>観光地で</li> <li>搭乗案内、機内放送</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* [知識] 文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>* [技能] 文の形・意味・用法を理解し、活用できる技能を身につけている。</li> <li>* 相手が提示する条件を理解したり、自分の条件を相手に伝えたりしている。</li> <li>* 料理の歴史や変化について考えたことや知っていることを伝え合うために、考えや事実などを理解したり表現したりしている。</li> </ul>
	Let's Talk2 <2時間> 丁寧なお願い	* 場面や相手に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>May I...?</li> <li>Could you ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 相手や場面に応じて、丁寧に許可を求めたり、依頼したりしている。</li> </ul>
	Grammar for Communication2 <1時間>	* 接続詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* [知識] 接続詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</li> <li>* [技能] 2つ以上の文の関係を考えて、適切な接続詞を使う技能を身につけている。</li> </ul>
月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準
6	学び方コーナー① <1時間>	* 英語の単語を覚えるために、音とつづりと意味について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単語の覚え方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 英語の単語を覚えるために、音とつづりと意味についての知識を活用しようとしている。</li> </ul>
	Let's Listen2 <1時間>	* インタビューを聞き、質問の内容や答えを聞き取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続詞 when because</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 職場体験をしている場面で、自分ならどんな質問をしたいか考えられるように仕事についてのインタビューを聞いて要点を捉えている。</li> </ul>

	Unit3 My future job (9時間)	*自分が体験したことや学んだことなどについてたずねたり伝えたりすることができる。	• 不定詞 (副詞的・形容詞的用法) • It to ...+to	知 思	*〔知識〕不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 *職業などについてよく知るために、仕事の内容などについて書かれた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて情報を加えて説明したりしている。
	Let's write1 (2時間)	*留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書くことができる。	• 不定詞	思	*留守番電話のメッセージで聞いたことについて返信するために、伝えたい内容を生入りして、返信メールを書いている。
	Grammar for Communication3 (1時間)	*不定詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	• 不定詞	知	*〔技能〕不定詞を用いて、目的やしたいことなどを伝える技能を身につけている。
	Learning TECHNOLOGY in English (1時間)	*情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりすることができる。	• 不定詞 • It is .....+to	思	*情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやり取りしたり書いたりしている。
7	Stage Activity1 A Message to Myself in the Future (5時間)	*好きなことや得意なことについて話し合い、自分に合うと思う仕事について書くことができる。	• 既習事項の総復習	思	*10年後の自分へのメッセージを伝えるために、お互いの好きなことや得意なこと、向いていると思う仕事を理由とともに伝え合って整理し、自分に合うと思う仕事について書いている。
	Let's Read1 History of Clocks (5時間)	*説明文を読み、時計についての歴史を読み取ったり、説明したりすることができる。	• 既習事項の総復習	思	*文章の大まかな流れを時間軸に沿ってまとめるために、時計が発展してきた歴史について書かれた文章の概要を捉えている。
8	Let's Listen3 (1時間)	*天気予報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。	• 助動詞 will	知 思	*〔知識〕未来を表す表現の意味や働きを理解している。 *週末の予定を立てるために、天気予報やおすすめの場所の情報を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。
	Unit4 Homestay in the United States (9時間)	*習慣やマナーについてたずねたり伝えたりすることができる。	• 助動詞 • 動名詞	知	*〔技能〕自分のスケジュールや学校のルールについて、する必要があることやしなければならないことを助動詞などを用いて、伝え合ったり書いたりする技能を身につけている。
	Let's write2 (2時間)	*お世話になった人に手紙で感謝の気持ちを伝えることができる。	• 動名詞	思	*ホームステイなどでお世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、思い出や気持ちなどを整理し、お礼の手紙を書いている。
	Grammar for Communication4 (1時間)	*助動詞を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	• 助動詞	知	*〔技能〕助動詞を用いて、できることやしなければならないことを伝える技能を身につけている。
	学び方コーナー② (2時間)	*聞き手に内容がよく伝わるように、英語の文章をお音読することができる。	• 音読の仕方	思	*聞き手に内容がよく伝わるように、意味の区切りを意識して英語の分掌を音読しようとしている。
	Let's Listen4 (1時間)	*運行情報を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。		思	*電車が遅延している状況で、目的地に行くために必要な情報を、運行状況のアナウンスから聞き取っている。
10	Unit5 Universal Design (11時間)	*身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明したり、自分の考えを述べたりすることができる。	• 疑問詞+to	知 思	*〔知識〕疑問詞+toを用いた文や主語+動詞+(人)+疑問詞+toの文の形・意味・用法を理解している。 *誰もが暮らしやすい社会について考えるために、ある人物の功績について書かれた文章の概要を捉えている。
	Let's Talk3 (2時間)	*乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。	• Could you tell me how to get to ...?	思	*乗り物で目的地に到着できるように、行き方についてたずねたり、答えたりしている。

月	単元名	指導目標	指導内容	評価規準	
11	Let's Listen5 (1時間)	*留守番電話を聞き、主な内容を理解することができる。	• 疑問詞+to	思	*待ち合わせの約束をしたりしたいことを伝えたりできるように、留守番電話のメッセージを聞いて、必要な情報を聞き取っている。
	Unit6 Research Your Topic (11時間)	*身近なトピックを通して、調査や発表の効果的なやり方について考える。 *身近なことについて、特徴を比較しながら説明することができる。	• 比較表現	知 思	*〔技能〕比較表現の理解をもとに、複数のものを比べて伝え合う技能を身につけている。 *調査の結果について理解したり伝え合ったりするために、複数のものを比べた文章の概要を捉えたり、簡単な語句や文を用いて説明したりしている。

	Let's Talk4 買い物 (2時間)	*自分の個のもいや要望を伝えながら買い物をする事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Shall I ...?</li> <li>• 比較表現</li> </ul>	思	*買い物でほしものを探ることができるように、自分の好みや要望を、簡単な語句や文を用いて伝えている。
	Grammar for Communication5 (2時間)	*比較表現を用いた文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較表現</li> </ul>	知	*〔技能〕複数のものや人について、形や性質などを比較して伝える技能を身につけている。
12	Stage Activity2 Research and Presentation (5時間)	*クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既習事項の総復習</li> </ul>	思	*聞き手のことを考えてわかりやすく伝えるために、クラスで人気のあるものについて調査し、その結果をまとめて発表しようとしている。
	学び方コーナー③ (1時間)	*あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を述べる事ができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 意見の述べ方</li> </ul>	思	*あるテーマについて、自分の賛成や反対の意見を効果的に伝えようとしている。
	Let's Read2 A Glass of Milk (5時間)	*物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取ったり、気持ちをこめて音読したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既習事項の総復習</li> </ul>	思	*気持ちをこめて音読することができるように、物語の場面や登場人物の心情の変化を読み取っている。
1	Let's Listen6 (1時間)	*商品のコマーシャルを聞き、商品の長所を聞き取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 比較表現</li> </ul>	思	*購入する商品を判断できるように、新商品についてのコマーシャルを聞いて、長所などの必要な情報を聞き取っている。
	Unit7 World Heritage Sites (11時間)	*世界遺産の特徴について知り、その特別な価値について考える。 *各地の世界遺産を紹介することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受け身</li> </ul>	知	*〔知識〕受け身の文の形・意味・用法を理解している。
2 3	Let's Talk5 電話でのやり取り (1時間)	*自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Do you want to ~?</li> <li>• I'd like to, but I can't.</li> <li>• 受け身</li> </ul>	思	*電話で待ち合わせの約束などの相談ができるように、自分の好みや要望を伝えながら、用件を伝えたり答えたりしている。
	Grammar for Communication6 (2時間)	*受け身の文の形・意味・用法を復習し、理解を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受け身</li> </ul>	知	*〔技能〕身のまわりのことや人について、受け身の文を用いて、異なる視点で情報を伝える技能を身につけている。
	Let's Listen7 (1時間)	*店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞き取ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受け身</li> </ul>	思	*行きたい場所とその理由を考えられるように、イベント情報についてのアナウンスを聞いて、要点を捉えている。
	Stage Activity3 My favorite Place in Our Town (5時間)	*自分の町のおすすめの場所について書き、自手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既習事項の総復習</li> </ul>	知	*〔知識〕Unit7までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。
	Let's Read3 Picture and Our Beautiful Planet (5時間)	*人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既習事項の総復習</li> </ul>	<p>知</p> <p>思</p>	<p>*〔知識〕時系列を表す文章構成や語句を理解している。 〔技能〕時系列を表す文章構成や語句の理解のもとに、ある人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。</p> <p>*文章の流れを時系列に沿ってまとめたり、そこからわかる環境問題について考えを伝え合ったりするために、あり人物の生涯について書かれた文章の概要を捉えている。</p>